

東日本ユニオン **TOKYO**

JR東日本労働組合東京地方本部
発行責任者 郷 重雄
発 行 東京地方本部教宣部
2018年2月6日 NO. 51

第5回中央委員会開催

2018春闘要求決定！

昇給係数4係数+ペア6,000円

エルダー、グリーンスタッフは社員に準じた賃上げを

2018年2月3日、ホテルラングウッドにおいて第5回中央委員会が開催されました。委員会は、職場で働く者の視点に立った熱気のある発言が続き、2018春闘をはじめとした本部方針を満場一致採択しました。そして、全地方本部一体となって問題解決にむけて闘う決意を新たにしました。

今こそ労働組合の出番！

中央委員からは、安全問題、エルダー問題、効率化・業務委託などについての現状が報告され、こういう時こそ労働組合の出番であると、解決にむけ取り組んでいく決意も出されました。

東京地本佐藤委員 発言要旨

組合員の気持ちを一つに

ダイヤ改正交渉の中で、他地本から要請のあった、乗務員乗継詰所の破損したイスの交換をかちとることがでた。しかし、たった二つのイスを交換することが、こんなにも大変なことなのかを実感した。

30周年のアンケートで、「俺はいいよ」「別にないなー」と白紙での提出もあった。しかし、動いたからこそ聞こえた声である。一方、独自に職場集会を開催し、個々の感じている「課題」を共有し取り組みにつなげている分会もある。労働組合に集う組合員の気持ちを一つにしていくことが、問われている。それなしには「声を聞くこと」も「たたかう

成長を実感

また、組織拡大の報告があり、私たち東日本ユニオンが選択してもらえる労働組合へと確実に成長していることを確認し合いました。そして、地域共闘など、さらに広い視野で運動を展開していく決意も述べられました。



こと」も出来ない。

要求実現に向け精一杯取組み、仲間たちとともに声を実現していきたい。

あきらめないでアタックを

効率化、AI、IoTとか言われるが、それを飲み込むことのないようにやっていきたい。

先輩からエルダー制度について、「今ある制度を使うために社員が会社にお願いする、それが今の姿ではないか」と言わされた。エルダーの皆さんのが希望を叶えることは出来ていないが、あきらめないでアタックしていきたい。